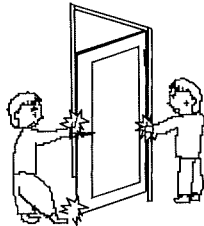


安全のためにお守りください

以下の事項を必ずお守りください。守らないで破損・事故等を起こしたり、ケガを負った場合、当社は一切の責任を負いかねます。

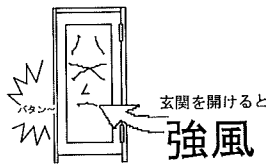
【室内ドア】

- 開きドアの開閉にあたっては、丁番側のすきまに手を置かないでください。指を挟んでけがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

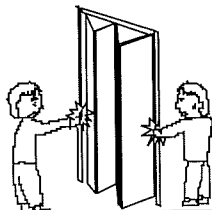


- 開きドアの開閉にあたっては、必ず取手を持って操作してください。取手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指を挟み、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

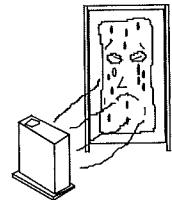
- 開きドアを開け放した状態にするときは、ドアストッパーなどをお使いください。強い風などで、勢いよく閉まることもあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬけがをするおそれがあります。



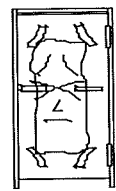
- 折戸の開閉にあたっては、扉どうしのすきまや扉と枠のすきまに手を置かないでください。指を挟んでけがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。



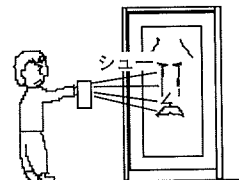
- 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。扉の反り、変色などの原因になります。



- 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないでください。表面が傷むおそれがあります。



- 本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材質の特性により表面がふくれれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。



- ※ LDドアのガラスは交換できません。万一割れた場合は、ドアごと交換となります。あらかじめご了承ください。



【お手入れ方法】

- 日常のお手入れは乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭きとってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤や溶剤(シンナー・ベンジン)などは絶対に使用しないでください。

表面部分

泥・ホコリ等の汚れ	固く絞ったぬれ雑巾で拭き取ってください。
接着剤・ペンキ等の汚れ	汚れが乾かないうちに、きれいな布などで広がらないように注意して、出来るだけ取ります。残りは乾いてから、セロハンテープの接着面を貼り付けるようにして繰り返し取ってください。それでも残る場合は、中性洗剤で軽く拭き取ってください。※強くこすると扉の艶が変色するおそれがありますので、ご注意ください。

ガラス部分(樹脂の場合)

泥・ホコリ等の汚れ	水を含んだ柔らかい布で、表面を濡らしながらごみを落として下さい。柔らかい布に、ぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭いてください。(薄める濃度は、各中性洗剤の標準使用法に従ってください。)中性洗剤の付着した表面をきれいな水を含んだ柔らかい布で拭いてください。最後に、柔らかい布で完全にふき取ってください。
塗料・グリース・シーリング材	汚れが乾かないうちに、エタノールかイソプロパノールを柔らかい布に湿らせて拭き取って下さい。※乾燥後の汚れ除去は困難ですのでご注意ください。

- ごみがたまらないよう、レールの溝はこまめにお掃除をしてください。扉レールの溝にごみがたまりますと扉の滑らかな走行の妨げとなり、故障の原因となります。掃除機などでこまめに掃除してください。